



はわいっこ

平成 28 年 10 月 31 日(月) 発行

謹んで地震による災害のお見舞いを申し上げます

10月21日(金)14時07分に発生した震度6弱の地震により被災された皆様に、謹んでお見舞いを申し上げます。ご自宅や親戚宅で被害のある方や、避難所への避難や車中泊をされた方があったと聞いています。余震がなかなか収まらない中、不安な思いをされている方や、片付け等で忙しい方も多いと思いますが、子どもたちも学校での生活の中で元気に過ごしており、普段通りの生活に戻りつつあります。本日、全児童対象にアンケートを取り、心のケアの必要な児童を、再度よく観ていこうとしています。お家の中で気になることや心配なことがありましたら、お気軽に担任または学校に連絡いただければと思います。よろしくお願いします。

地震発生時の避難・引き渡しのご協力ありがとうございました

地震の発生時は学習発表会中で、体育館で演奏準備をしている学年、その近くで待機している学年、そして教室で全校合唱を待っている学年がありましたが、子どもたちはケガなく無事全員避難することができました。担任が指示することなく机の下に潜り込み、指示が出るまで静かに待ち、その後のグラウンドへの移動も落ち着いてできたようです。普段からの訓練の成果が出たように思います。また、保護者の方への引き渡しを行いました。不幸中の幸いで、学習発表会を観に来ていただいた保護者にそのまま連れて帰っていただき、スムーズに引き渡しことができました。最後に引き渡しできたのは15時30分と、羽合小のこの規模では、とても早く引き渡しを完了することができました。これも皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

学習発表会の再開に際し、ご理解ご支援ありがとうございました

10月21日(金)に「とどけよう 羽合に一つの 歌声を」をテーマに、学習発表会を開催しました。午前中は、子どもたち同士で発表を見合いましたが、ながせ、たじり、はわいの3つのこども園の園児や、ひかり園などの地域の方にもたくさん来ていただきました。また、午後は体育館いっぱいに保護者や地域の方をお迎えし、地震が来るまでの間、1年から3年までと、4年の合唱、リコーダー奏までを行いました。地震のために中断となった残りの発表について、余震が続いている中ではありましたが、子どもたちの今後の学習予定や体育館の使用のことを考えると、これ以上先延ばしはできないと判断し、10月26日(水)の午後で開催しました。2度目となる開催ではありましたが、多くの保護者の方に足を運んでいただき感謝しております。余震もなく、無事残りの発表を行いました。児童の歌声や演奏に対する感動が、今回の地震が起こったことでのいろいろな想いが相まって、より深いものになった感じがしました。最後の全校合唱が終わったときには、「無事に終えた。」という安堵感と、子どもたちからもらった感動とで、何とも言えないすがすがしい気持ちでいっぱいでした。今回の学習発表会の再会につきましては、保護者や地域のみなさんのご理解とご支援があってこそできました。本当にありがとうございました。